

【データを安全に連携、利活用できるデジタルインフラ】  
**NTT DATA のデータスペース実装への挑戦**  
～欧州で加速度的に動き出す進むデータ×ビジネスと日本の展望～

— 講師 — 株式会社 NTT データグループ 技術革新統括本部  
Innovation 技術部 IOWN 推進室  
シニア・エキスパート 萩原 悠二 氏

日時 2026年4月20日(月) 午後4時30分～6時30分  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

近年、社会的・業界横断的課題の解決や生成 AI の高度化に向けて、データ活用の重要性が高まっています。

その一方で、公開され自由に利用できるデータは限られており、多くは企業内に蓄積されたまま十分に活用されていません。こうした内部データを含めて安全に活用することが、価値創出の鍵となります。さらに、単一企業にとどまらず、企業間でデータや価値を連携する仕組みとしてデータスペースが国際的に推進されています。

本講演では、データスペースの現状や具体的事例、ならびに実現に向けた NTT DATA の取組について解説します。

1. データスペースとは
2. データスペースの事例
3. データスペース実装の現実的な課題と対応
4. 企業間データ連携を促進するための技術開発
5. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 萩原 悠二 (はぎわら ゆうじ) 氏

2013年 NTT データ入社。オープンソースソフトウェアや大規模並列分散処理を中心とした研究開発・システム開発を専門に従事。近年は企業間データ連携の研究開発に携わる。

